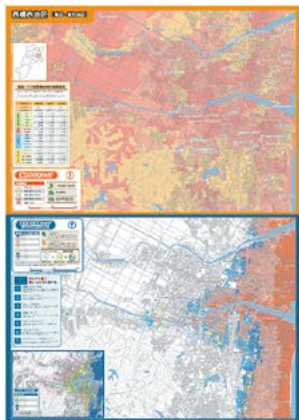


災害の備えに！ハザードマップをご確認ください

津市では、地震・洪水・土砂災害に関するハザードマップを作成し市民の皆さんへ配布しています。また、津市ホームページ内の防災サイトでも公開しています。

地震防災マップ



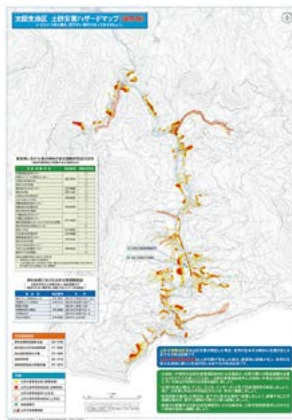
南海トラフを震源とする地震が発生した場合の予測震度や津波の浸水が予測される地域など

洪水ハザードマップ



大雨により河川が氾濫した場合の浸水想定区域など

土砂災害ハザードマップ



土砂災害が発生する恐れがある土砂災害警戒区域など

ハザードマップ を見るには

津市ホームページ内の防災サイトで公開しているほか、防災室、各総合支所地域振興課、各出張所で配布しています。詳しくは、防災室または各総合支所地域振興課へお問い合わせください。



HP 津市 ハザードマップ 検索

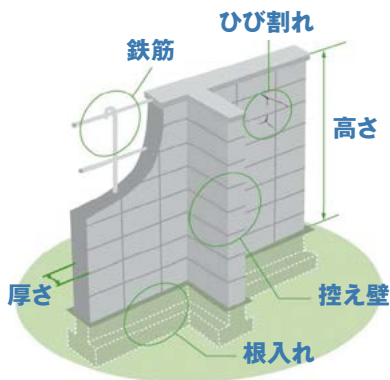
ブロック塀の安全チェックを！

古いブロック塀などは、厳しい自然環境の下で、年数とともに老朽化し、ひび割れや欠け、鉄筋のさび、傾きなどが発生します。これらを放置したままにすると大きな地震の際

に倒壊し、人の命に関わったり、災害時に救助活動の妨げになったりすることがあります。

維持管理は、所有者・管理者の責任であり、日頃から点検し、異常や規定を満たしていない場合は、早急な転倒防止対策や改善策を施すとともに通行者へ注意表示などを行い、適切に補修、撤去などを行いましょう。

ブロック塀などを撤去後、生け垣(樹木植栽)を設置する場合に、その生け垣の設置費用の一部を補助する制度の開始を予定しています。詳しくは、広報津10月16日号をご覧ください。



ブロック塀の点検のチェックポイント

一つでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず、外観で1～5をチェックし、一つでも不適合がある場合や分からないことがあれば専門家に相談しましょう。

- 1 塀は高すぎないか
→地盤から2.2m以下か
- 2 塀の厚さは十分か
→10cm以上か(塀の高さが2m超2.2m以下の場合15cm以上)
- 3 控え壁はあるか(塀の高さが1.2m超の場合)
→塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか
- 4 基礎があるか
→コンクリートの基礎があるか
- 5 塀は健全か
→塀に傾き、ひび割れはないか

<専門家に相談しましょう>

- 6 塀に鉄筋が入っているか
→塀の中に直径9mm以上の鉄筋が縦横とも80cm間隔以下で配筋されていて、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれ鍵掛けされているか
→基礎の根入れ深さは30cm以上か(塀の高さが1.2m超の場合)

※組積造(レンガ造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合は、チェックポイントが異なります。

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」
日本建築防災協会 2013.1より一部改

問い合わせ

建築指導課 ☎229-3187 FAX229-3336

都市政策課 ☎229-3290 FAX229-3336